

アデコ 2014年第1四半期は勢いを維持

- 売上が徐々に回復、利益は継続して向上 -

[2014年5月8日 スイス、チューリッヒ]

第1四半期ハイライト (前年同期比)

- 売上高 6%増 (昨年同期比、為替変動の影響を除く)
- 粗利率 60bps 増の 18.6%
- 販売管理費 3%増 (事業再編費用、為替変動の影響を除く)
- EBITA 利益 41%増の 1 億 8500 万ユーロ (事業再編費用、為替変動の影響を除く)
- EBITA 利益率 100bps 増の 4.0% (事業再編費用を除く)
- 純利益 64%増、一株あたりの利益は 69%増

2014年第1四半期の主な数値

単位： 100万ユーロ	報告数値	報告数値 成長率	為替変動の影響を 除いた成長率
売上高	4,656	2%	6%
売上総利益	868	6%	10%
EBITA (事業再編費用を除く、金利 支払い、税引き、営業権償却前利益)	185	35%	41%
EBITA (金利支払い、税引き、営業 権償却前利益)	180	42%	49%
営業利益	171	47%	54%
当期純利益	110	64%	-

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループ（本社：スイス）は本日、2014年度第1四半期の決算発表を行いました。売上高は為替変動の影響を除き前年同期比で6%増の47億ユーロ、粗利率は60bps増の18.6%となりました。事業再編費用を除く販売管理費は為替変動の影響を除き3%増となりました。事業再編費用を除くEBITA利益率は前年同期比で100bps増の4.0%となりました。純利益は64%増の1億1000万ユーロ、一株あたりの利益は69%増の0.62ユーロとなりました。

以下はCEO、パトリック・デ・メスネールのコメントです。

「第1四半期は31,000人以上の社員が貢献し、素晴らしい結果を残しました。ヨーロッパでは製造系のビジネスが牽引し、業績が回復しました。製造業の需要の高まりは、景気回復の先行指標であり、他の業種における需要への波及が期待されます。イベリア、ドイツとオーストリア、ベネルクス、ノルディクスと東ヨーロッパでは為替変動の影響を除き2桁増となり、ヨーロッパ経済が徐々に広範囲で回復を見せています。年初から4か月間、アデコグループ全体でも徐々に回復の兆しを見せており、為替変動を除く営業日数調整後の売上高は1月と2月の合算で5%増、3月と4月の合算で6%増となりました。私たちは、引き続き2015年のEBITA利益率5.5%達成のために注力します。6つの事業戦略と好調な市場状況の継続により、この目標が達成できると確信しています。」

第1四半期の日本の状況

売上は2013年第1四半期と同等の2億4800万ユーロとなりました。日本の売上の75%を占めるオフィス系は4%減となりましたが、専門性に特化したIT・エンジニアリングによる10%の売上増により相殺されました。売上は同等ですが、利益率は再び向上しました。EBITA利益は1200万ユーロとなり、EBITA利益率は4.8%となり、前年同期比の4.5%から0.3%増加しました。